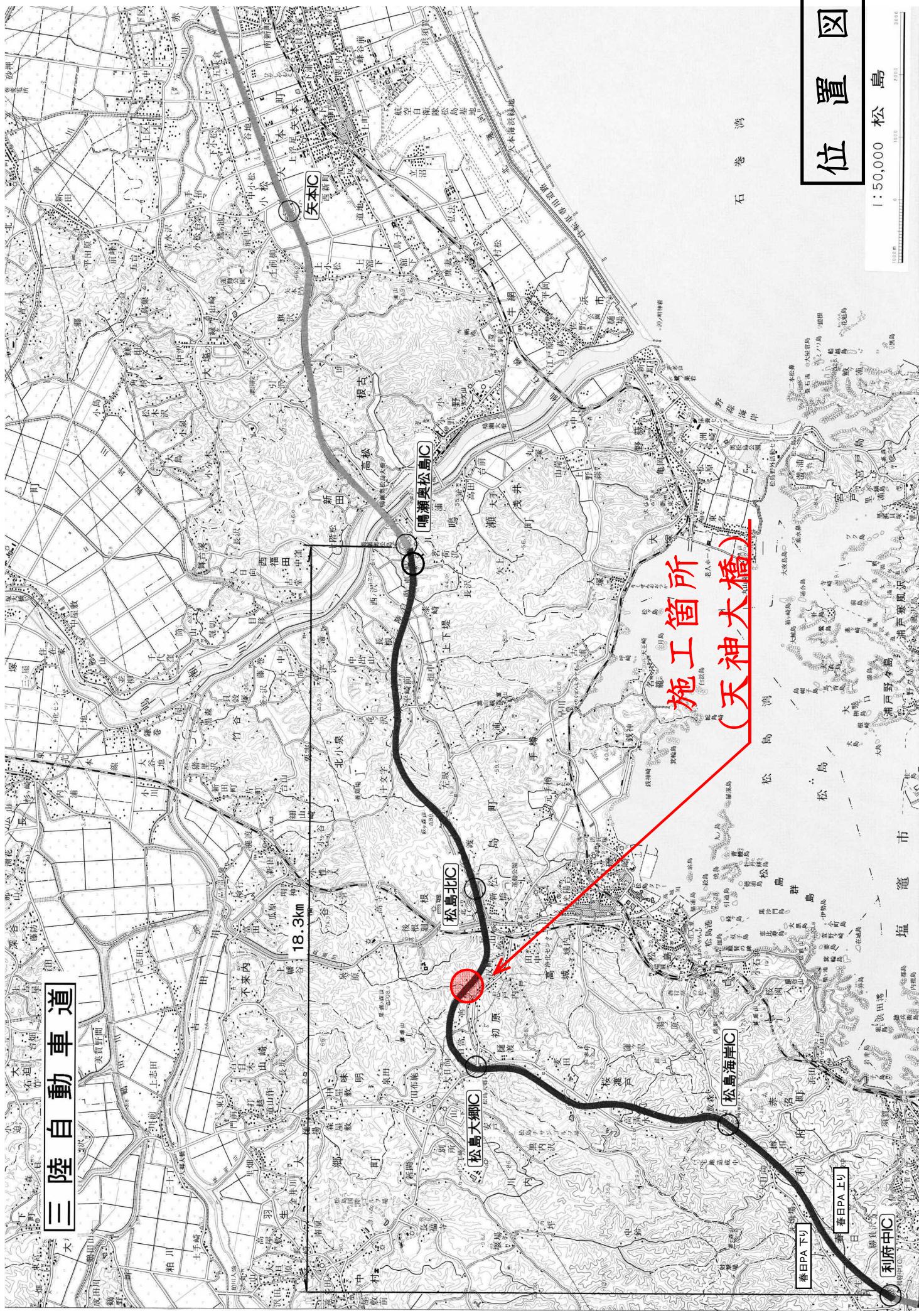


宮城県道路公社							
部長	次長	課長	副事務官	副参事官	副参事官	技術幹事	技術幹事
<b>工事仕様書</b>							
事業年度	平成30年度		工事番号		仙松維第9号		
工事名	仙台松島道路 橋梁修繕(天神大橋)工事 実施仕様書						
路線名	主要地方道 仙台松島線						
施行地名	宮城郡松島町初原 地内						
工期	平成年月日 から 平成32年3月27日						
<b>工事概要</b>							
別紙のとおり							

工事概要	工事概要
<p>仙台松島道路 橋梁修繕(天神大橋)工事</p> <p>天神大橋(上り) 施工延長 L= 235m</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○床版補修工           <ul style="list-style-type: none"> <li>・床版補修炭素繊維工</li> </ul> </li> </ul> <p>炭素繊維シート貼付工(格子張 中弹性型)</p> <p>A= 1,410 m<sup>2</sup></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○補修塗装工           <ul style="list-style-type: none"> <li>・補修塗装工</li> </ul> </li> </ul> <p>補修塗装工(塗膜剥離)</p> <p>A= 8,150 m<sup>2</sup></p> <p>補修塗装工(素地調整・下塗・中塗・上塗)</p> <p>A= 8,150 m<sup>2</sup></p> <p>吊り足場工</p> <p>A= 2,570 m<sup>2</sup></p>	

# 位置図



# 一 特記仕様書一

## 施工条件明示書

工事番号	平成30年度 仙松維第9号	工事名	仙台松島道路 橋梁修繕(天神大橋)工事	事務所名	宮城県道路公社									
項目	条件	内 容		施工方法	備考									
1 共通仕様書の適用	本工事は、宮城県土木部制定「共通仕様書」を適用するほか、本特記仕様書により施工するものとする。 仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。													
2 主任技術者及び監理技術者(以下、配置技術者という。)の配置	<p>(1) 現場施工に着手する日の指定 (配置技術者の配置要件の特例)</p> <p>※平成25年4月1日以降適用「現場施工の着手日を指定した工事における配置技術者の配置要件の特例について」</p>	ある	平成 年 月 日 (「3 工程関係」に条件がない場合は、期日以前の着手も可能)											
		ある	諸負者が着手日を選択出来る工事(フレックス工事) 契約日から〇〇日以内 土木工事共通特記仕様書第1編1-1-4によること											
		ない	諸負者は、現場施工に着手する日の指定がない限り、原則として、契約書に定める工期の初日から30日以内に現場施工に着手しなければならない。(共通仕様書第1編共通編第1章総則1-1-8)											
	上記現場施工に着手する日の前日までの期間において、工事準備等を含め工事現場が不稼動であることが明確な場合は、配置技術者の工事現場への専任は不要しない。 出納局契約課ホームページ参照のこと。 <a href="http://www.pref.miyagi.jp/keiaku/kk50.htm">http://www.pref.miyagi.jp/keiaku/kk50.htm</a>													
3 工程関係														
(1) 関連工事による施工時期の調整	ある	ない												
(2) 施工時期による制限	ある	ない	官公庁の休日について、作業をおこなわないものとする。但し、上記工事をおこなう必要が生じた時は協議事項とする。											
(3) 関係機関等との協議の未成立	ある	ない	高速道路交通警察隊の協議及び道路管理者(松島町)との協議											
(4) 関係機関等との協議結果、特定条件の付加	ある	ない	上記の協議結果によっては条件が付されることがある。											
4 公告対策関係														
(1) 施工方法、機械設置、作業時間等の制限	ある	ない	各関係法令、条例による											
5 安全対策関係														
(1) 交通安全施設等の指定	ある	ない	高速道路交通警察隊・松島町との協議・回答及び保安施設設置計画書による											
(2) 占用埋設物との近接工事による施工方法、作業時間の制限	ある	ない												
6 排水工関係														
(1) 溝水、湧水処理のための特別な対策の必要性	ある	ない												
7 建設副産物対策関係														
(1) 共通事項	下記の処理・処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、下記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理・処分に先立ち処分場等の受け入れの可否を確認すること。なお、廃棄物の処理に当たっては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守すること(環境省または循環型社会推進課のHPを参照)。		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>処理・処分する場所</th> <th>処理・処分方法</th> <th>距離</th> <th>制限時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事現場内及び工事現場間で再利用する場合は、施工管理及び契約方法等について、施工計画打合せ時に監督職員と協議すること。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				処理・処分する場所	処理・処分方法	距離	制限時間	工事現場内及び工事現場間で再利用する場合は、施工管理及び契約方法等について、施工計画打合せ時に監督職員と協議すること。			
処理・処分する場所	処理・処分方法	距離	制限時間											
工事現場内及び工事現場間で再利用する場合は、施工管理及び契約方法等について、施工計画打合せ時に監督職員と協議すること。														
(2) 建設発生土 (表土剥取土)	ある	ない												
(3) 建設発生土以外の建設副産物	処理・処分	ある	ない											
コンクリート塊	ある	ない			km以内	時 分 ~ 時 分								
アスファルト塊	ある	ない			km以内	時 分 ~ 時 分								
建設発生木材	ある	ない			km	時 分 ~ 時 分								
建設汚泥	ある	ない			km	時 分 ~ 時 分								
その他	ある	ない	鈴木工業 ホツマープラント	特別管理型処分 (鉛含) 鉛さい	18.0km 17.5km	km以内 時 分 ~ 時 分								
(4) 再生材の利用	ある	ない	種類・数量											
8 工事現場のイメージアップ	ある	ない	内容											
			イメージアップの具体的な実施内容、実施期間については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。											
9 品質証明														
(1)品質証明書および施工プロセス品質確認チェックリストの対象	ある	ない	請負工事費が、1億5千万円以上の工事および発注者が必要と認める工事。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。											
(2)施工プロセス品質確認チェックリストの対象	ある	ない	上記に該当せず、請負工事費が1億円以上の工事。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。											
10 標準的な設計図書による発注方式	ある	ない	土木工事共通特記仕様書第3編1-1-14によること。											
11 資材関係														
(1) 生コンクリート	生コンクリートの使用に当たっては、「宮城県生コンクリート品質管理監査会議」が交付する「品質管理監査合格証」を有する工場の製品、又は同等以上の品質管理を行っていることが認められる工場の製品を使用すること。													
(2) 購入土	購入土を使用する場合は、材料承諾時に「探石法第33条による採取計画認可書の写し」、又は「砂利採取法第16条の採取計画認可書の写し」を提出すること。													
(3) 宮城県グリーン製品の利用	<p>必須</p> <p>1.植生基盤材等、視線誘導標、型枠用合板は、原則として宮城県グリーン製品を用いること。</p>													
「宮城県グリーン製品」利用推進指針によること。 「宮城県グリーン製品」を使用した場合は、諸負者は環境政策課HPより「チェックリスト」をダウンロードし、使用材料や数量等を入力後、工事完了後に監督職員に提出(電子メール)すること。	ある	ない	2.盛土材、埋め戻し材											
	ある	ない	3.その他( )											
	ある	ない	4.その他( )											
(4) 現場吹付法施工	吹付モルタルにおける圧縮強度の規格値は、18N/mm <sup>2</sup> 以上とする。													
12 その他														
(1) 補装の下請制限について	ある	ない	土木工事共通特記仕様書第1編1-1-3によること。											
(2) 「ダンブ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象の有無	ある	ない	本工事は「ダンブ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象工事であり、諸負者は、調査票等に必要事項を正確に記入し発注者に提出する他、ダンブ土砂運搬等下請負契約に関する関係書類を提出すること。 諸負者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、諸負者は、当該工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む)も同様の義務を負う旨を周知すること。											
(3) 三者会議の対象の有無	ある	ない	本工事は、工事着手前等に当該工事の発注者、施工者、詳細設計等を担当した設計者が参加して、設計図書と現場の整合性の確認及び設計意図の伝達等を行う「三者会議」を設置する対象工事である。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-5によること。											
(4) 貸与資料の有無	ある	ない	本仕様書によるもののほか工事施工に関して必要な資料として工事契約後下記の資料を貸与する。 貸与資料( 天神大橋設計資料 )											
(5) 発注者支援(工事監督支援業務)対象の有無	ある	ない	工事監督支援業務の受注者が現場監督支援する場合、工事請負者対し「工事打合せ簿」により担当技術者(所属会社等名・氏名)の通知を行うこと。											
(6) 工事写真の電子化の対象の有無	ある	ない	本工事の工事写真の作成は、原則として、デジタル写真管理情報基準(案)に基づき電子とすること。ただし、予定価格が8,000万円未満の場合は、監督員との協議により、従来の紙による作成も認めることとする。											
(7) 工事実績情報システム(コリンズ)登録	請負者は、工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し登録申請を行うこと。													
(8) 工事書類の簡素化の試行について	ある	ない	1. 本工事は、工事書類の簡素化を目的とした試行対象工事である。 2. 「宮城県土木部における工事書類簡素化一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿、材料確認書、段階確認書、立会願、夜間・休日作業届の書類を提出については、電子メール活用を基本とする。 3. これらに定められていない場合は、監督職員と協議するものとする。											

## 東日本大震災に伴う特例制度

## 特記事項

項目	内容	施工方法	備考
18 住民への配慮について			
(1) 住民への配慮	・工事実施にあたり近隣住民への事前説明の周知すること。	監督職員と協議を行った上で、事前説明方法を検討し、工事中のトラブル発生の防止を図ること。	
(2) 現場内の管理	橋梁下の道路は、農業従事者等が利用するので、相互の調整を行うこと。	監督職員と協議を行った上で、事前説明方法を検討し、工事中のトラブル発生の防止を図ること。	
19 安全管理の徹底			
(1) 労働災害について	・工事請負者は工事の円滑な運営及び労働災害の防止に努めること。		
(2) 交通安全管理について	・本工事において、町道上空部の吊り足場施工時は、交通誘導員を設置し交通安全確保に十分留意すること。		
20 建設副産物の処理			
(1) 建設副産物処理の報告	・本工事で発生した建設副産物等の処理については、設計計上されていないものに関しては「建設廃棄物処理計画書」を作成すること。特に、現場塗装における発生物の処理について記載すること。	建設廃棄物等を処理した場合は「建設廃棄物等処理結果報告書」、「マニュフェスト」、「処理状況写真」を提出のこと	
(2) 建設副産物の取り扱いについて	・本工事において発生する建設副産物等の処理については、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進書を作成し施工計画書に含めなければならない。	共通仕様書1-1-5に基づき施工計画書に明記すること	
21 安全費について			
(1) 安全費(積上げ)の計上について	・本工事の交通誘導員は、町道上空部の吊り足場施工時において8日間分、計上している。	保安施設設置計画書に交通誘導員の配置を明記すること。	
(2) 交通誘導員の適正配置について	・当該路線での交通誘導にあたっては、警備業法施行規則第38条による教育の履歴者、過去3年以内に建設業協会等が主催した建設工事の事故防止のための安全講習会の受講者等を配置するものとする	教育の実施状況、受講証の写し等確認できる資料を監督職員に提出すること	
22 施工条件について			
(1) 事前調査について	・事前に橋梁補修の適正について補修工事施工方法の確認をおこなうこと。 ・橋梁周辺の現況町道の事前調査を行い、工事用車両による路面上の著しい変化が発生しないか、定期的に監視を行うものとする。	監督職員と協議の上施工すること。	
(2) 契約書第18条に基づく協議について	・工事着手前後、速やかに契約書第18条に基づく事前調査、測量を実施し、設計図書の照査をおこない監督員へ協議(提出)すること。	監督職員と協議の上施工すること。	
(3) 工事工程について	・施工にあたっては、現場状況の確認と工事工程を確認し、施工計画を立案するものとする。工事時期の計画に変更が生じた場合は、監督員と協議するものとする。	監督職員と協議の上施工すること。	
(4) 近隣生活道路の通行確保について	・地域住民が利用する、周辺の松島町道を走行する際は交通安全確保に留意すること。	監督職員と協議の上施工すること。	
(5) 設計仕様の基準について	・現場塗装は、補修塗装に市場単価を用い淡彩としているので、材料の仕様、基準値を確保すること。  ・塗装剥離剤の仕様については、施工実績により0.5kg/m <sup>2</sup> の使用量を2回分計上している。塗膜回収についても、2回分の回収費用を計上している。  ・塗膜の廃材については、鉛含有を見込み、特別管理廃棄物処理として扱っている。  ・施工管理上、必要とする試験費は共通仮設費に含まれている。  ・足場工の設置期間については、炭素繊維貼付及び現場塗装工に要する期間を対象としており、A1～P3間で8.6ヶ月間、P3～A2間で5.6ヶ月間、計上している。	監督職員と協議の上施工すること。	
23 その他			
(1) 共通仕様書、マニュアルについて	内容について必ず確認すること 1. 共通仕様書(土木工事編 I) 2. 共通仕様書(土木工事編 II (共通特記仕様書) 3. 土木設計マニュアル	宮城県土木部事業管理課のホームページを確認し最新版にて管理を行うこと	
(2) 暴力団等の排除について	1. 乙が、この契約の履行期間中に宮城県入札契約暴力団等排除要綱(平成20年11月1日施工。(以下、「排除要綱」と言う)別表各号に該当すると認められたときは、契約を解除することができる。  2. 乙は排除要綱別表各号に該当し、本県から指名停止措置を受けていたる者に、この契約の全部又は一部を下請負させ、若しくは委託させてはならない。また、この契約の下請負受託をされた者が、排除要項別表各号に該当すると認められたときは、当該下請契約等の解除を求めることができる。  3. 乙は、この契約の履行にあたり暴力団員又は暴力団関係者(以下、「暴力団員等」という)から不当要求を受けたときは、速やかに警察への通報をおこない、捜査上必要な協力をおこなうとともに、発注者へ報告すること。また、この契約の下請負若しくは受託をされた者が、暴力団員等から不当要求又は妨害を受けたときは、同様の措置を行うよう指導すること。なお、暴力団員等から不当要求又は被害を受け、警察への通報、捜査協力及び発注者への報告が適切に行われた場合で、これにより、履行延滞等が発生する恐れがあると認められるときは、必要に応じて工程の調整、工期の延長等の措置を講		
(3) 成果品について	・印刷物の他、工事完成書類の各種納品物を電子データとして電子媒体に納め、提出するものとする。	監督職員と協議の上提出すること。	
(4) 資材単価と施工単価について	・使用資材・施工方法について、設計図書に記載されているものと同等品以上の中を使用することとするが、現地調査により、別の資材、別の工法で施工する場合については、監督職員と協議するものとする。	監督職員と協議の上提出すること。	
(5) 工種区分について	・本工事における工種区分は「鋼橋架設工事」として積算を実施している。		

# 工事数量総括表(本01)

工事名	橋梁修繕全体(天神大橋)工事				事業区分 工事区分	数量(今回)	道路維持・修繕 道路維持
		規格	単位	数量(前回)			
道路維持			式		1		摘要
床版補修工			式		1		
床版補修炭素繊維工	格子貼り 炭素繊維シート2.4kN/mm <sup>2</sup>	:	式		1		
下地処理工	テクスチャード		m <sup>2</sup>		1,350		
プライマー工			m <sup>2</sup>		1,060		
不陸修正工			m <sup>2</sup>		1,060		
炭素繊維シート貼付け工	中弾性型:含浸材量0.85kg/m <sup>2</sup> 2.4kN/mm <sup>2</sup> 以上 目付量300g/m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>		1,410		
仕上げ工	中塗り・上塗り		m <sup>2</sup>		1,060		
床版下面補修工	左官工法 V=0.4m <sup>3</sup>		橋		1		
床版ケラック補修	低圧注入法 L=20m		橋		1		
補修塗装工		式			1		

# 工事数量総括表(本01)

工事名	橋梁修繕全体(天神大橋)工事				事業区分 工事区分	数量(今回)	道路維持・修繕 道路維持
		規格	単位	数量(前回)			
補修塗装工		式		1			摘要
補修塗装工(塗膜剥離)	塗装剥離剤の主桁・対傾鋼 剥ぎ	m2		8,150			
補修塗装工(塗膜剥離)	塗装剥離剤の主桁・対傾鋼 剥ぎ	m2		8,150			
塗膜回收・積込	塗装膜回收・積込 1回目	m2		8,150			
塗膜回收・積込	塗装膜回收・積込 2回目	m2		8,150			
塗装残材処理費	鉛含有塗膜	式		1			
補修塗装工	主桁部外(RC-1)	m2		8,150			
プラスストラット処理費	アラストラット	式		1			
吊り足場工	A1-P1・P2-P3 中段足場有り 8.6 ヶ月	m2		1,060			
吊り足場工	P3-A2 中段足場有り 5.6ヶ月	m2		980			
吊り足場工	P1-P2(両道上) 中段足場有り 8.6 ヶ月	m2		530			

# 工事数量総括表(本01)

工事名	橋梁修繕全体(天神大橋)工事			事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路維持
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減 摘要
昇降設備工	P2橋脚 登り桟橋 手すり先行式	m2		120	
昇降設備工	P4橋脚 登り桟橋 手すり先行式	m2		100	
既設検査路撤去		橋		1	
既設検査路再設置		橋		1	
床版補修仮設工		式		1	
交通管理工		式		1	
交通誘導警備員B		式		1	
直接工事費		式		1	
共通仮設		式		1	
共通仮設費(率計上)		式		1	
純工事費		式		1	

# 工事数量総括表(本01)